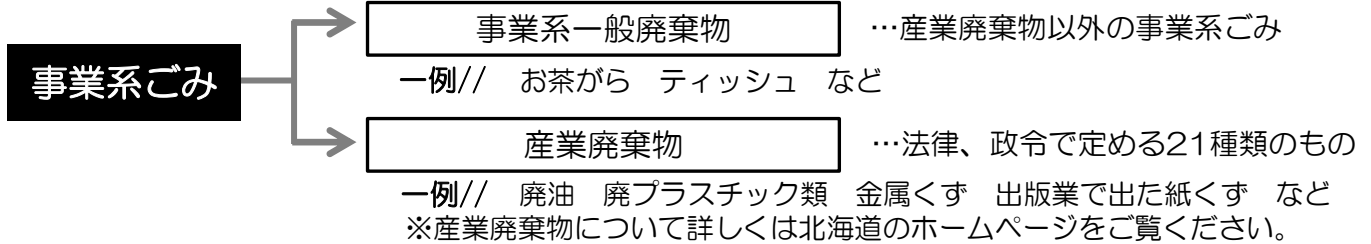


事業系ごみの減量にご協力をお願いします

■ 事業系ごみとは

家庭から出されるごみと区別して、会社やお店などの事業活動に伴って生じたごみのことを、「事業系ごみ」といいます。事業系ごみには、事業系一般廃棄物と産業廃棄物があります。



事業活動に伴って出るごみは、事業者自ら処理する責任があります。
(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第3条)

■ 事業系ごみ減量により期待できること

★ 経費削減になります

ごみの処理費用は事業経費です。
ごみを減らすことで、ごみの処理にかかる経費を削減することにつながります。

★ イメージアップになります

環境問題への関心が高まるなか、企業が環境問題に積極的に取り組むことにより、企業価値の向上やイメージアップにつながります。



■ 事業系ごみ減量のポイント

一部のごみは、資源として資源収集業者や廃棄物処理業者に引き取ってもらえる場合があります。資源化できるごみが無いかどうか、現在の収集業者に今一度ご相談ください。

リサイクル可能な資源ごみの例

■ 古紙類

- ・新聞
- ・雑誌
- ・ダンボール
- ・コピー用紙



■ プラスチック類

- ・ペットボトル



■ 金属類

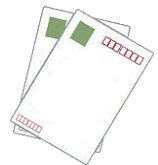
- ・ジュースの缶
- ・金属缶
- ・スチール
- ・アルミサッシ
- ・銅線
- ・自転車



■ 素材により

リサイクル可能なもの

- ・包装紙
- ・名刺
- ・はがき
- ・封筒



※個々の収集業者・処理業者と契約をされていない方は、下記にご相談いただくこともできます。

➡ 十勝資源リサイクル事業協同組合 ☎ 0155-37-6888

帯広市都市環境部環境室清掃事業課

〒080-2464 帯広市西24条北4丁目1番地

電話/ 0155-37-2311 メール/ clean@city.obihiro.hokkaido.jp

3Rとは、持続可能な循環型社会を目指すために必要な3つの要素であるReduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の頭文字をとった言葉です。3Rには優先順位があり、まずは“ごみそのものを出さない”リデュース、次に“使えるものは繰り返し使う”リユース、最後にリサイクルの取組みが重要となっています。

3R

スリーアール

リデュース
Reduce
ごみも資源も
もともと減らす

まずはごみの発生抑制！
ごみを出さない環境づくりが重要です。

リユース
Reuse
繰り返し使う

ごみとして捨てる前に、
再利用できないか
検討しましょう。

リサイクル
Recycle
資源として再び
使用する

どうしてもごみになって
しまったものは、正しく
分別してリサイクル！

Reduce

無駄な紙を使わない

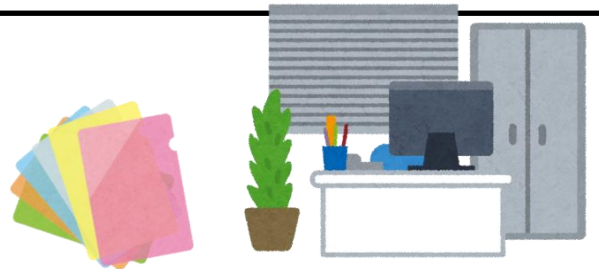
- 両面コピーをする
- ミスコピーを防ぐため、コピー機を使い終わったら必ずリセットする
- 書類は共有ファイルを作成し、個々にコピーを持たないようにする
- パンフレット・チラシは必要とする量を把握し、最小限の作成とする
- 伝票、事務書類、会議資料等は可能な限り電子データ化する



Reuse

事務用品は繰り返し使う

- 長期間使用できるものを選んで購入する
- 備品は、使用状況を管理し、職場間で融通しあう
- 新品でなくてよいものは、中古品での購入も検討する



Recycle

リサイクル商品を選ぶ

- 事務用品は再生品を購入して使用する
- OA用紙・印刷物には再生紙を購入して使用する



ごみ懇談会を実施しています

帯広市では、ごみについての懇談会を実施しています。事業所から出るごみの処理についてや、減量、リサイクルなどについて、職員がお伺いしてご説明します。内容や時間はご相談に応じますので、お気軽にお申し込みください。



- ◆ 会場/ 申込者各自でご用意願います。
- ◆ 経費/ 会場使用料はご負担願います。
- ◆ お申込み方法/ 開催予定日の30日前までに、電話で清掃事業課(電話0155-37-2311)にお申し込みください。日程の調整をさせていただく場合があります。